

テーマは 「安らぎ」 地震への備えについて考えます。

安らぎ通信 NO. 1

## 平成27年2月の安らぎ通信

### 大規模改築に融資 — りそな銀行 老朽施設の耐震化照準



りそな銀行は、老朽化したマンションやアパートなどの大規模改修を対象にした新たな融資を始めました。新築と同程度の耐用年数を見込める「リファイニング建築」と呼ばれる手法を使うことが条件で、長期間の改修資金を融資します。

東日本大震災を機に、老朽化した建物の耐震化需要が高まっていることに対応します。

リファイニング建築は、解体して建て直すよりも費用を3割ほど減らせます。  
(2015年1月12日 日本経済新聞記事から抜粋)

### 減災「神戸モデル」世界へ — 国連会議で採択



阪神大震災の経験を踏まえた国際防災指針「兵庫行動枠組」。自然災害への早期警報体制や防災教育の推進、災害多発国への技術支援などを通じ、「減災」に生きたと各国の評価を得ています。

(2015年1月16日 日本経済新聞記事から抜粋)

### 阪神大震災20年 都市災害「備え」途上

#### 金融・製薬、業界挙げ 教訓、わが身のものに



6000人以上が亡くなった阪神大震災、発生から20年。国全体として、都市の防災体制を見直す契機となりました。時の経過による危機意識の薄れ、防災・減災の人材不足、かさむ費用などの課題もあります。

あなたに価値あるホームページを [yamachuwood.com](http://yamachuwood.com)

山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9 TEL 06-6552-0781

テーマは 「安らぎ」 地震への備えについて考えます。

安らぎ通信 NO. 2

神戸市、自力復興の軌跡 震災20年、財政再建に道筋

職員を大幅削減、保育所など移管 にぎわい回復課題

芦屋市も行革推進 全半壊比率、神戸上回る

借金、ピークの半分に

兵庫県内の被災自治体にとっては、復旧・復興費用が膨らむ中で税収が減り、財政運営に苦しんだ年月でもありました。

復興住宅 進む高齢化 — 65歳以上、初の5割超

「孤立を防げ」 地域連携急務

災害復興公営住宅では、入居者の高齢化が一段と進み、自治会機能が低下するなどコミュニティーの維持が課題になっています。

鎮魂の歌 未来へ 生徒ら「この日 胸に刻む」

神戸市内の多くの学校で、犠牲者の冥福を祈る行事や、被災体験を語り継ぐ授業が開かれました。

(2015年1月17日 日本経済新聞記事から抜粋)

超高層ビル 地震被害予測 — 清水建設、首都圏対象

改修工事 受注めざす



清水建設は、首都直下型など大型地震で超高層ビルがどれだけ被害を受けるかを予測するサービスを始めます。首都圏の超高層ビル約1500棟が対象。

(2015年1月19日 日本経済新聞記事から抜粋)

あなたに価値あるホームページを [yamachuwood.com](http://yamachuwood.com)

山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9 TEL 06-6552-0781

テーマは 「安らぎ」 地震への備えについて考えます。

安らぎ通信 NO. 3

南海トラフ 津波火災 270件 — 名大予測、22都府県で発生  
静岡・三重40件以上  
東日本大震災時 被害甚大 鎮火に10日



南海トラフ巨大地震が発生した場合、津波を原因とする「津波火災」が首都圏から九州の22都府県で計約270件発生する可能性があるとの予測を名古屋大学減災連携研究センターがまとめました。

(2015年1月20日 日本経済新聞記事から抜粋)

直下型で要修復2割 — 首都圏の超高層ビル

### 清水建設が耐震予測



清水建設は、首都圏にある超高層ビルの耐震性を分析したところ、約2割のビルが直下型地震で修復が必要になる損傷を受けるとの予測をまとめました。

1960年代以降に建設した超高層ビルのうち、1999年以前に建てられた高層ビルは、M7級の直下型地震で傷みが激しくなる傾向がありました。

(2015年1月27日 日本経済新聞記事から抜粋)

日本の火山 活動期に? — 東日本大震災後 全国各地で活発

### 巨大地震連動 9・18世紀にも



国内の火山活動が活発さを増しています。

2014年9月に起きた御嶽山の噴火は、死者・行方不明者が63人と戦後最悪の火山被害で、小笠原諸島の西之島も1年以上噴火しながら島を拡大し続けています。

2011年3月の東日本大震災以降、日本列島が火山の活動期に入ったと考える研究者は少なくありません。

※活火山：おおむね過去1万年以内に噴火した火山および、現在活発な噴気活動のある火山。現在、日本には110の活火山があり、世界の約7%にあたります。昔あった休火山や死火山といった区分はなくなりました。

(2015年1月30日 日本経済新聞記事から抜粋)

あなたに価値あるホームページを [yamachuwood.com](http://yamachuwood.com)

山忠木材株式会社

大阪市大正区千島 3-18-9 TEL 06-6552-0781